

健康と疾病対策 県民講座 ご案内

放射線治療最前線 「人に優しい重粒子線治療」と 感染症

日本人の死亡原因の第一位は「がん」。がん治療の3本柱は、外科的治療・化学治療・そして放射線治療です。放射線治療は、体に優しい治療方法であり、なかでも「重粒子線治療」は炭素イオン線という重粒子をがん細胞に照射する治療法で、「がんにも強く、身体的負担の少ない、人に優しい、理想的な放射線治療」です。また、忘れてならないものに感染症があります。結核も決して過去の病気ではなく、エボラ出血熱、MERS など新たな脅威も生まれています。本県民講座では、感染症と、重粒子線治療の専門家の方々にご講演を頂き、感染症の現状と、重粒子線治療の最前線を紹介し、その意義を考えます。

日時 : 2015年10月10日(土) 13:45 ~ 16:40 (開場 13:30)

入場無料。90名様で満席となりますので、事前受付をお勧めします。受付 TEL:052-910-0325

場所 : 愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階「会議室 1101」

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38 TEL : 052-571-6131

■ 1 「感染症の現状 日本と世界」 13:50 ~ 14:30

演者 元名古屋大学総長 加藤延夫

座長 愛知診断治療技術振興財団 理事長 石垣武男

■ 2 「がん治療の現状と放射線治療の役割」 14:30 ~ 15:10

演者 名古屋大学がんプロフェッショナル特任教授 伊藤善之

座長 愛知診断治療技術振興財団名古屋城北放射線科クリニック 服部陽子

休憩

■ 3 「がん治療における重粒子線の威力」 15:20 ~ 16:00

演者 粒子線がん相談クリニック院長・元放射線医学総合研究所 重粒子医科学センター長 辻井博彦

座長 愛知診断治療技術振興財団名古屋城北放射線科クリニック 副院長 安藤容子

■ 4 「重粒子治療を受けて」 16:00 ~ 16:20

演者 元名古屋大学大型計算機センタ事務長 藤本保紀

座長 小牧市民病院 放射線科部長 改井 修

■ 5 「名古屋における現状」及び 閉会の辞 16:20 ~ 16:40

愛知診断治療技術振興財団 理事長 石垣武男

主催 : 一般財団法人 愛知診断治療技術振興財団

<http://www.a-m-foundation.com/>

名古屋城北放射線科クリニック

Tel: 052-910-0325 Fax: 052-910-3326

後援 :  愛知県
Aichi Prefectural Government

